

第1編

委員会活動概要

本編では委員会活動の概要を紹介するにとどめ、各分科会の詳しい成果は第2編以降を参照願いたい。なお、本成果は前身となる第1期「公共土木施設の維持管理に関する研究委員会」、第2期「維持管理研究委員会」、第3期「インフラ維持管理研究委員会」、第4期「インフラメンテナンス研究委員会」の活動を踏まえ、維持管理技術の向上に資する内容を目指して活動を続けていくことを目指した。

第8編には最終報告会の資料を添付しているので、参考にしていきたい。

1. 各分科会（WG）の活動概要

< 全体委員会 >

委員会発足当初に委員会全体で維持管理の現状と課題を再認識するために、近畿地方整備局の道路部及び近畿道路メンテナンスセンターから8名の幹部の方々にご参加いただき、意見交換会の当委員会委員との意見交換の機会（WEB会議）をもった。概要を下記に記す。

目的：建コン近畿支部のインフラメンテナンス委員会を進めるにあたり、発注者側の意見や要望を踏まえて、当委員会の研究に反映させることで今後の維持管理事業に貢献する。また、当委員会の研究内容が他の研究機関などと重複することなく（無駄な作業は避ける）進行できるように、情報交換を実施する。

内容： 近畿地方整備局での維持管理の現状と課題，道路メンテナンス会議での課題など
本省，国総研での維持管理に関する最新の動き
建コン近畿支部への要望

また、令和6年9月26日には最終報告会として、神戸大学芥川真一教授から話題提供の講演をいただくとともに、各分科会活動報告を実施した。

（第8編参照）

< 橋梁分科会 >

近畿地方整備局とインフラメンテナンス研究委員会 の意見交換会を令和4年に実施し、新技術の研究開発、地方自治体において耐震補強の事例集のニーズがあることを確認した。それを基に2つのWGに分かれて研究を実施した。

補修・補強WGでは、発注者・受注者を問わず、計画・設計に係る技術者の業務遂行に資することを目的とした事例集を作成した。「誰が見ても分かりやすい記載をすること」に着目し、事例の分類表を用いることで目的に応じた事例を確認することができるようにした。

点検・調査WGでは、今後の新技術採用や研究開発の参考となる資料を作成することを目的とした。生産年齢人口が減少する我が国において、近接目視をはじめとする既存技術に頼った調査や点検では生産性が低いため、新技術の活用推進を国土交通省は施策としている。自治体のアンケートの整理により、発注者、受注者それぞれの抱えるニーズのギャップ、新技術採用に向けた建設コンサルタントの役割が重要であることも確認された。

点検支援技術性能カタログには膨大な新技術が掲載されているが、技術の分類、適用損傷や条件、活用事例を整理し、点検支援技術の選択をする際の参考資料を作成した。

< 道路構造物分科会 >

構造物の点検、補修などの維持管理について、施設管理者の視点・ニーズを踏まえつつ、これまでに蓄積され防災点検記録を分析した。

今後の維持管理や被災後の対策工検討の参考資料として活用することを目的として、対策実施済み施設を対象に当該施設の変状の経緯・要因・対策についての記録を整理し、防災対策事例集としてとりまとめた。

また、GNSS レシーバーやLiDARを搭載したスマートフォンなどの汎用性の高い簡易計測機器を用いて道路土工構造物の維持管理への活用を研究した。

< 道路トンネル分科会 >

道路トンネルの維持管理における課題を抽出し、道路管理者との意見交換を行って、研究テーマを抽出した。

OSV 計測技術の適用は、室内実験と実際のトンネルにおけるフィールド実験を行い、POF センサを用いたモニタリングシステムが有効であることを確認した。

新技術による点検作業の省力化については、打音検査・たたき落しに代わる技術、附属物の点検診断技術、コスト縮減が可能な技術に着目し、技術の概要、現在の技術開発状況や活用実績等の整理を行った。

補修対策後の経年劣化は、補修補強対策後の劣化事例を収集し、経年劣化の現象整理、要因分析を行った。また、うき、はく離、剥落対策工と漏水対策工について、経年劣化の特徴を整理し、設計時の留意点・反映すべき事項を提案した。

< のり面・斜面分科会 >

近畿支部においては、1988年から長きにわたり、斜面安定問題について各種委員会を設立し議論してきた。2010年からは、維持管理に関わる技術を加え、主に道路のり面について、当委員会の前身となる委員会の中で分科会として議論を重ねている。2021年からはインフラ維持管理研究委員会「のり面・斜面分科会」として、3つのワーキングを編成し、「切土のり面・自然斜面」、「盛土のり面」に加え、地すべりや土石流対策に関わる「土砂災害」についても議論の範囲を広げた。本報告では、若手技術者に対する教科書的な技術に加え、過去の研究報告書の内容・概要の説明の他、各種調査対策事例を採り上げ、各委員が説明と考察・評価を加えている。その中では対策工の選定や調査設計の流れがわかるような検討フローも示した。ここに3年間の成果として報告する。

< 河川分科会 >

河川分科会では、自治体が利用しやすい維持管理マニュアルの作成を活動の主テーマと定め、2つのWGにて活動を進めてきた。各WGでの研究以外に近畿圏内の河川管理者である国土交通省河川部局や地方自治体と意見交換した。また、地方自治体からは維持管理の現状や課題、点検方法、評価の実態をヒアリングした。自治体の中でも大阪府においては独自のマニュアルを作成しており、それに基づき、維持管理している状況であることを確認した。なお、ヒアリングした内容を踏まえ、河道WGにおいては、河道内の点検・評価手法に着目して検討し、護岸WGにおいては、護岸構造物の空洞化に着目して検討を行った。

2. 委員会構成

インフラメンテナンス研究委員会の委員構成は図 2.1 に示すとおりである。なお，各分科会のメンバー構成も表 2.1 に掲載する。

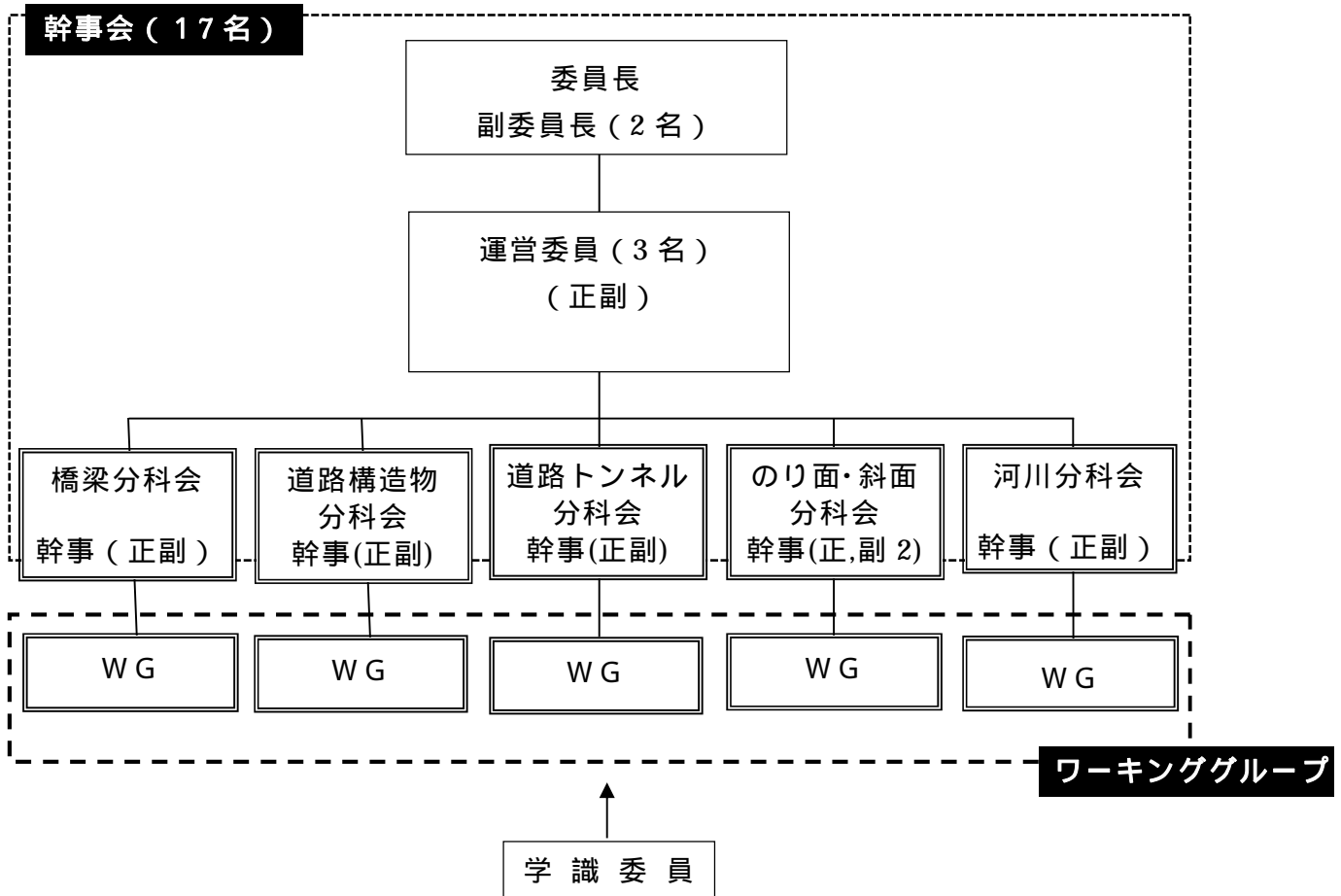


図 2.1 委員会組織構成図

表 2.1 委員会（幹事会・分科会）メンバー表

幹事会

	種 別	氏 名	会 社 名	備 考
1	委員 長	北 野 俊 介	協和設計(株)	技術部会長 旧：久後雅治（～R6.3）
2	副委員 長	高 祖 成 一	日本工営(株) 大阪支店	技術副部会長 旧：勝山修（～R5.3）
3	副委員 長	梁 田 信 河	八千代エンジニアリング(株) 大阪支店	技術副部会長
4	運営委員（正）	田 中 正 吾	協和設計(株) 神戸支店	技術部会長付参与 旧：北野俊介（～R6.3）
5	運営委員（副）	高 橋 信 之	日本工営(株) 大阪支店	技術副部会長付参与 旧：山口信（～R5.3）
6	運営委員（副）	藤 谷 悦 正	八千代エンジニアリング(株) 大阪支店	技術副部会長付参与
7	幹 事	池 田 智 也	(株)スリーエスコンサルタンツ	橋梁分科会
8	副 幹 事	小 柴 友 彦	(株)かんこう	橋梁分科会
9	幹 事	神 吉 秀 哉	協和設計(株)	道路構造物分科会
10	副 幹 事	黒 木 和 典	大日本ダイヤコンサルタント(株) 大阪支社	道路構造物分科会
11	幹 事	宮 地 栄 一	協和設計(株)	道路トンネル分科会
12	副 幹 事	義 永 茂 司	(株)ニュージェック	道路トンネル分科会
13	幹 事	西 岡 孝 尚	協和設計(株)	のり面・斜面分科会
14	副 幹 事	中 村 均 史	(株)関西土木技術センター	のり面・斜面分科会
15	副 幹 事	橋 本 英 俊	国土防災技術(株) 四国支店	のり面・斜面分科会
16	幹 事	高 野 和 成	パシフィックコンサルタンツ(株) 大阪本社	河川分科会
17	副 幹 事	志 村 智 昭	いであ(株) 大阪支社	河川分科会

橋梁分科会

	種 別	氏 名	会 社 名	備 考
1	学識委員	玉 田 和 也	舞鶴工業高等専門学校	
2	幹 事	池 田 智 也	(株)スリーエスコンサルタンツ	
3	副 幹 事	小 柴 友 彦	(株)かんこう	
4	委 員	吉 見 和	(株)エイト日本技術開発 関西支社	旧：柏 直也（～R6.6）
5	委 員	奥 田 展 基	(株)オリエンタルコンサルタンツ 関西支社	
6	委 員	近 藤 藍 之	(株)片平新日本技研	
7	委 員	田 中 俊 光	協和設計(株)	
8	委 員	三 品 貴 寛	(株)近代設計 大阪支社	
9	委 員	小 林 駿 祐	(株)建設技術研究所 大阪本社	
10	委 員	照 屋 友 輝	(株)スリーエスコンサルタンツ	R6.6～
11	委 員	鈴 木 耕 史	大日コンサルタント(株) 大阪支社	
12	委 員	井 田 琢 己	大日本ダイヤコンサルタント(株) 大阪支社	旧：川崎浩一（～R3.11）
13	委 員	大 越 悠 生	大日本ダイヤコンサルタント(株) 大阪支社	旧：川崎浩一（～R3.11）田尻将大（～R5.10）
14	委 員	根 来 早 苗	太洋エンジニアリング(株)	
15	委 員	井 原 貴 浩	中央コンサルタンツ(株) 大阪支店	
16	委 員	毛 利 誠 信	中央復建コンサルタンツ(株)	
17	委 員	小 野 拓 海	中央復建コンサルタンツ(株)	
18	委 員	筒 井 真 輝	東洋技研コンサルタント(株)	旧：徳本祐介（～R5.3）
19	委 員	今 澤 和 輝	(株)日建技術コンサルタント	旧：渡辺隆太（～R5.3）
20	委 員	船 積 昭 弘	(株)日本インシーク	旧：川野真裕（～R5.5）
21	委 員	松 田 知 子	日本工営(株) 大阪支店	
22	委 員	Luiza H Ichinose	(株)日本工業試験所	
23	委 員	飯 山 大 樹	(株)ニュージェック	旧：橋本欣也（～R4.6）
24	委 員	青 木 梓	パシフィックコンサルタンツ(株) 大阪本社	
25	委 員	白 川 祐 太	八千代エンジニアリング(株) 大阪支店	
-	委 員	長 谷 川 祐 樹	基礎地盤コンサルタンツ(株)	退会（～R6.3）
-	委 員	北 川 浩 二	(株)橋梁コンサルタント 大阪事業所	退会（～R4.11）

道路構造物分科会

	種別	氏名	会社名	備考
1	学識委員	澁谷 啓	(一財)建設工学研究所	
2	幹事	神吉 秀哉	協和設計(株)	
3	副幹事	黒木 和典	大日コンサルタント(株) 大阪支社	
4	委員	大川 健二	(株)エイト日本技術開発 関西支社	
5	委員	許 晋 碩	協和設計(株)	
6	委員	米元 佑介	(株)建設技術研究所 大阪本社	
7	委員	遠藤 壮	(株)長大	旧：高田聡文(～R5.12)
8	委員	渡邊 恵二	東洋技研コンサルタント(株)	
9	委員	田貝 教浩	(株)ニュージェック	
10	委員	井上 雅晴	(株)ニュージェック	
11	委員	岩切 昭義	(株)パスコ 中央事業部	
-	委員	渡邊 直樹	(株)オリエンタルコンサルタンツ 関西支社	退会(～R6.1)

道路トンネル分科会

	種別	氏名	会社名	備考
1	学識委員	芥川 真一	神戸大学大学院 工学研究科	
2	幹事	宮地 栄一	協和設計(株)	
3	副幹事	義永 茂司	(株)ニュージェック	
4	委員	河原 幸弘	(株)エイト日本技術開発 関西支社	
5	委員	吉岡 知哉	(株)オリエンタルコンサルタンツ 関西支社	
6	委員	安田 啓吾	基礎地盤コンサルタンツ(株) 関西支社	
7	委員	若本 達也	(株)建設技術研究所 大阪本社	旧：市川真治(～R5.3)
8	委員	竹林 正晴	中央復建コンサルタンツ(株)	
9	委員	鴨川 玄	(株)長大	
10	委員	横山 真一郎	日本工営(株) 大阪支店	旧：中野清人(～R5.3)
11	委員	石村 勝伸	(株)ニュージェック	
12	委員	山田 宣章	パシフィックコンサルタンツ(株) 大阪本社	
13	委員	小林 隆広	八千代エンジニアリング(株) 大阪支店	

のり面・斜面分科会

	種別	氏名	会社名	備考
1	学識委員	沖村 孝	(一財)建設工学研究所	
2	学識委員	西形 達明	(協組)関西地盤環境研究センター	
3	幹事	西岡 孝尚	協和設計(株)	
4	副幹事	中村 均史	(株)関西土木技術センター	
5	副幹事	橋本 英俊	国土防災技術(株) 四国支店	
6	委員	松本 淳	(株)アーステック東洋	
7	委員	片野 慎二	(株)ウエスコ 豊岡事務所	
8	委員	西垣 昌俊	(株)オリエンタルコンサルタンツ 関西支社	
9	委員	泉 良久	基礎地盤コンサルタンツ(株) 関西支社	
10	委員	佐伯 響一	(株)建設技術研究所 大阪本社	
11	委員	村田 叔充	国際航業(株)	
12	委員	香川 喬之	(株)修成建設コンサルタント	
13	委員	山本 強	大日本ダイヤコンサルタント(株) 大阪支社	旧：宅川正洋(～R4.7)
14	委員	炭谷 雅昭	大日本ダイヤコンサルタント(株) 大阪支社	
15	委員	川原 知也	中央復建コンサルタンツ(株)	旧：勝瀬尚登(～R6.1)
16	委員	岩田 英明	(株)長大	
17	委員	高橋 懂	(株)日建技術コンサルタント	
18	委員	品川 将輝	(株)日本インシーク	
19	委員	田中 秀輝	日本工営(株) 大阪支店	旧：小林慶之(～R4.4)
20	委員	北村 真一	(株)ニュージェック 大阪本社	
21	委員	植田 誠司	パシフィックコンサルタンツ(株) 大阪本社	R5.4月～
22	委員	田中 栄一	八千代エンジニアリング(株) 大阪支店	
-	委員	萩原 小百合	国際航業(株)	退会(～R4.6)

河川分科会

	種別	氏名	会社名	備考
1	学識委員	東 良 慶	大阪工業大学 工学部 都市デザイン工学科	
2	幹事	高野 和成	パシフィックコンサルタンツ(株) 大阪本社	
3	副幹事	志村 智昭	いであ(株) 大阪支社	
4	委員	藤井 尚	(株)エイト日本技術開発 関西支社	
5	委員	浜村 虎太郎	(株)オリエンタルコンサルタンツ 関西支社	旧：中町聡(～R4.4) 森本麻友(～R5.3)
6	委員	小野 寺光二	(株)建設技術研究所 大阪本社	旧：齊藤智隆(～R6.5)
7	委員	上野 舞子	(株)修成建設コンサルタント	
8	委員	吉田 孝司	大日本ダイヤコンサルタント(株) 大阪支社	
9	委員	塩崎 雄一	大日本ダイヤコンサルタント(株) 大阪支社	
10	委員	崎山 賢人	中央復建コンサルタンツ(株)	
11	委員	保智 正和	東洋技研コンサルタント(株)	
12	委員	堀江 佳弘	(株)日建技術コンサルタント	旧：林田直哉(～R5.3)
13	委員	森田 晃	(株)日本インシーク	
14	委員	佐藤 京介	日本工営(株) 大阪支店	旧：鳥海秋(～R5.3)
15	委員	張 紫薇	パシフィックコンサルタンツ(株) 大阪本社	旧：大島直樹(～R5.3)
16	委員	篠崎 遼太	八千代エンジニアリング(株) 大阪支店	

広報 WG

	種別	氏名	会社名	備考
1	委員	北野 俊介	協和設計(株)	委員長
2	委員	高橋 信之	日本工営(株) 大阪支店	運営委員(副)
3	委員	藤谷 悦正	八千代エンジニアリング(株) 大阪支店	運営委員(副)
4	委員	飯山 大樹	(株)ニュージェック	橋梁分科会
5	委員	神吉 秀哉	協和設計(株)	道路構造物分科会
6	委員	宮地 栄一	協和設計(株)	道路トシ分科会
7	委員	高橋 懂	(株)日建技術コンサルタント	のり面・斜面分科会
8	委員	保智 正和	東洋技研コンサルタント(株)	河川分科会

3. 委員会開催状況

	回数	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
幹事会	16 回	2 回	5 回	5 回	4 回
橋梁分科会	25 回	1 回	10 回	11 回	3 回
道路構造物 分科会	18 回	2 回	6 回	8 回	2 回
道路トンネル 分科会	17 回	2 回	5 回	6 回	4 回
のり面・斜面 分科会	20 回	2 回	7 回	6 回	5 回
河川分科会	25 回	2 回	8 回	10 回	5 回
広報 WG	5 回	-	3 回	2 回	-
報告会	3 回	-	中間報告会	中間報告会	最終報告会

開催回数は現地視察を含む